

会 議 録

会 議 名	令和 4 年度 山形市いじめ問題対策連絡協議会
開催日時	令和 4 年 6 月 1 0 日 (金) 1 5 : 0 0 ~ 1 6 : 0 0
開催場所	1 0 0 2 会議室
主 催	学校教育課
出席者	<p>山形市 佐藤 孝弘 市長</p> <p>山形県福祉相談センター 今井 卓生 副所長 (兼) 児童福祉司</p> <p>山形地方法務局 大木 薫 人権擁護係長</p> <p>山形人権擁護委員協議会 小関 徳雄 会長</p> <p>山形市青少年指導センター指導委員連絡会 沼澤 義夫 会長</p> <p>山形市青少年育成市民会議 伊藤 康則 会長</p> <p>山形市 P T A 連合会母親委員会 高見 佳澄 委員長</p> <p>山形市中学校長会 井上 賢一 会長</p> <p>山形市立商業高校 小林 勝喜 校長</p> <p>山形市教育委員会 金沢 智也 教育長</p> <p>山形市健康医療部母子保健課 原田 純子 課長</p> <p>山形市こども未来部こども家庭支援課 関口 剛 課長</p> <p>学校教育課 細谷 直樹 課長</p> <p>学校教育課 田中 千絵 主任指導主事 (兼) 指導係長</p> <p>学校教育課 伊藤 貴之 指導主事</p> <p>学校教育課 須賀 学 指導主事</p>
欠席者	<p>山形警察署 今埜 淳也 生活安全課長</p> <p>山形市子ども会育成連合会 佐藤 博之 会長</p> <p>山形市 P T A 連合会 船橋 吾一 会長</p> <p>山形市小学校長会 江口 俊和 会長</p> <p>山形市総務部総務課 奥山 昌敏 課長</p>
議 題	令和 4 年度 山形市いじめ問題対策連絡協議会について
資 料	別紙参照
作 成 者	学校教育課 主任指導主事 田中 千絵

会議経過

- 1 開会
- 2 会長挨拶
- 3 自己紹介
- 4 報告

(1) 令和3年度いじめの実態について

〈質問〉

◇	山形市PTA連合会母親委員会会長
	「(2) ⑦嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたりさせられたりする」が小学校で多く報告されているが、具体的な内容はどのようなことか。
◆	事務局
	ズボンを下げられるなどが報告されている。いたずらから始まっても、それが常態化すると悪質ないじめにつながる可能性もあると考えている。

5 協議

(1) 令和3年度事業報告について

〈質問〉なし

(2) 令和4年度事業計画(案)について

〈質問〉

◇	山形市PTA連合会母親委員会会長
	保護者の集まりの中で、コロナ禍において学校に訪れる機会が減ったこと、学校や保護者同士の連携が図りにくくなったことなどから、どこに相談したらよいかわからないとの声が上がっている。子どもたちには、相談できる場所についてのカードが渡っているが、相談窓口に関する情報を保護者にも周知してほしい。
◆	事務局
	学校からも、コロナ禍で保護者との連携が図りにくいとの声があがっている。感染状況を注視しながら、できることを探っている現状がある。相談窓口についても、児童生徒のみならず、保護者の方々への周知の方法について検討していく。
◇	こども未来部こども家庭支援課長
	(関連して)今年度、LINEでの相談窓口を設置した。保護者のみでなく、お子さんの利用も可能であり、実際に相談も入っている。児童生徒に向けたチラシも作成しており、気軽に使ってもらえるものとして推進していきたい。
◆	議長
	今年度、新たに開始した事業である。気軽に何でも相談できる場として活用

	できるよう、しっかり周知してほしい。
◆	議長
	要望を踏まえた上で、原案どおりとしてよいか。
◇	一同
	賛成。

(3) その他

〈提案〉なし

6 情報交換

◇	山形県福祉相談センター副所長
	管内の相談のうち、いじめと関連づくものは例年 3 件程度である。昨年度は 4 件であった。様々な相談のなかに含まれるが、基本的には一度の助言指導で終結するケースが多い。センターの主たる問題は、福祉に関するものであり、いじめ問題については教育委員会に頼っている現状がある。
◇	山形地方法務局係長
	毎年、人権擁護委員協議会と共催で「作文コンクール」や「書道コンテスト」を実施。児童生徒が人権について考える機会を設定している。 全小中学生対象に「こどもの人権 SOS ミニレター」を配布し、子供たちの声に耳を傾け、一通一通返事を返している。些細な相談から重大なものまで含まれている。内に秘めた思いを吐き出せる場として設置している。 夏休み明けには、電話相談による「こどもの相談 110 番」を設置している。 先ほど、どこに相談したらよいかわからないという意見があったが、本機関には「窓口が多すぎて、どこに相談すべきかわからない」という声も届いている現状である。今後、相談できる窓口を広く周知していきたい。
◇	山形人権擁護委員協議会会長
	法務局における人権の相談は、大人も子供も無料で電話できる。「こども人権 110 番」などを活用した人権擁護課への電話連絡の後、本人が希望すれば、法務局の面談や介入も可能である。解決に向けて共に進めることができる機関があるので、活用してほしい。(平日 9:30~17:00) 今年も、人権の書道コンクール、作文コンクールを実施する。山形市の作品は、全員分展示する。積極的な参加をぜひお願いしたい。 法務局人権擁護課では、「相談」と「解決」を目指して活動している。そのために、職員を学校に派遣し、デート DV や人権の花などについての講話を行うことも可能である。ここ 2 年は要望が少なかったが、ぜひ活用してほしい。
◇	青少年指導センター会長
	教育委員会の社会教育青少年課とつながって活動している。指導センターは、民生委員、保護司など 880 名が所属しており、330 名が中央指導員とし

	<p>て活動している。</p> <p>山形市の繁華街や天童のイオンモールなどで巡回指導を実施している。</p> <p>山形市内の繁華街でも街頭指導をするが、見かける人数は少ない。子どもたちの元気な挨拶を聞くこちらも元気になる。大きなトラブルがないのは良いことだと考える。</p> <p>家庭において、子供の目を見て表情を確認して、いじめの芽がないかを見守るのも家庭の役割である。学校や他の人のせいにしてばかりではなく、家庭でできることを丁寧に取り組むことも必要と考える。</p>
◇	山形市青少年育成市民会議会長
	<p>上部団体である山形県青少年育成県民会議の実施要項に基づき、各地区で「いじめ・非行をなくそうやまがた県民運動」を実施している。標語の募集は、教育委員会の取組と重なるところがある。</p>
◇	山形市PTA連合会母親委員会会長
	<p>5月に母親委員会が開かれ、いじめについての話題があった。</p> <p>ネットゲームにより、子どもたちの間で「死ぬ」「殺す」などの言葉が飛び交っているのではと心配している。コロナ関連で、友達と遊んではダメ、話してはダメ、と言われることもあり、子供たちがどうしてよいかわからないようだ。</p> <p>年3回の会合で、今回紹介いただいた相談窓口について周知したい。各機関のチラシがあればいただけるとありがたい。</p> <p>市PTA連合会では「いじめのない環境この山形から」をテーマに、活動報告を募集している。今年度、日本PTA全国大会が山形で開催されるため、山形市の取組を発信していく予定である。</p>
◇	中学校校長会会長
	<p>いじめの報告：児童生徒や保護者から訴えがあったものは、すべて報告するようにしている。いじめの件数が増加している一因になっているかと思う。</p> <p>いじめを起こさない子供たちにしていくため、生徒会を中心に取組を行っている。子どもたちを救うためにも、短いスパンで様々な調査を行い、アンテナを張り、個々のケースに対応しようと努力している。</p> <p>いじめについて、教育委員会が厳しくチェックしてくれているのがありがたい。解消の報告についても、委員会からの指摘を受けることがある。緊張感をもって対応できているのは山形市の良いところだと考えている。</p>
◇	商業高等学校校長
	<p>これまでは、ネットへの書き込み等が挙げられていた。昨年度は、いじめアンケートによる訴えはなかったが、生徒の状況を注視していく。</p> <p>ここ1、2年で不登校生徒が増加しており、職員も戸惑いを隠せない。保護者も苦慮している状況がある。心身の苦痛を訴えている生徒には、校内のメンタルヘルス委員会を通して、校内・校外の機関と連携しながらサポートで</p>

	きるよう努めている。
◆	議長
	各機関の取り組みについて、質問はあるか。
◇	一同
	特になし
◆	議長
	いじめ問題については、各機関で気軽に情報を共有し、連携を図って対応してもらえるとありがたい。

7 連絡

次回開催は、令和5年6月頃を予定している。